

2025年(令和7年)

7月15日(火)

第1416号

毎月15日発行

20代で3年 米づくり挑戦

「農業をやりたい」。
若い頃からその思いを抱いていた菊地社長。

学校を卒業して福島に戻り、23歳から母親の仕事を手伝いながら米作りに挑戦した。お、母親は良質な木酢液(キクノール)の製造・販売を行っている(有木紅木の菊地祐美子社長だ。親子で全国野菜園芸技術研究会の大

それでも農業がしたいという思いは揺るがなかった。

な
を学ぶ中で、二〇歳飯だけなく、麺やパンといつた形でお米を届けるのも「一つの方法」と認識が変わつていった。「私はご飯も麺も大好き。だからまずは米粉麺と、小麦粉の代わりに米粉でどろみをつけたカレールウやハヤシライスのルウから

がんばれニッポン農業!!

全野研推奨品・有機JAS対応



針葉樹木酢液
木紅木 キクノール®

土壤改良材 植物活性液

キクノールとキトサンで連作障害を克服する!!

30倍～500倍

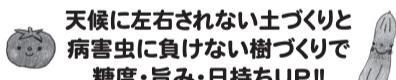
水耕・養液栽培にも

ph2.2～2.8

100%純正



天候に左右されない土づくりと病害虫に負けない樹づくりで糖度・旨み・日持ちUP!!



有限会社 福島県いわき市好間町上好間字大畑100
木紅木 (きくもく) TEL 0246(36)5016(代)
・FAX 0246(36)2314
<http://www.kikumoku.co.jp>

お問い合わせはお気軽に! サンプル無料進呈中!!

A woman with short dark hair, wearing a white short-sleeved shirt with a colorful floral print and a dark blue apron, stands behind a wooden counter in a shop. She is smiling at the camera. On the counter in front of her are several brochures or menus featuring food items like ramen and sandwiches. Behind her, there are shelves filled with various packaged goods and a display case containing bread. The shop has a rustic feel with its light-colored wooden walls and floor.

米づくりと米粉商品の開発・販売、定食屋「笑いーと」を営む菊地社長

福島県いわき市で米粉製品の開発・販売に取り組み、定食屋「笑い」との経営や米作りも行う株たふいあの菊地順子社長が、自らの歩みと農業への思い、そして海外展開を見据えた将来構想を語った。米粉麺や米粉ルウの開発からスタートし、念願だった自らの作りへ。そして地域の食材を生かした定食を通じて、"本物の食"を伝える取り組みを広げている。

「朝4時から市場に行つて見て回り、夜中まで働いてもまったく苦ではなく、本当に楽しめました。オーストラリアから二ンジン、タマネギ、キャベツなどを輸入している会社で、その業務もさせてもらいました。そこで1年ちょっとと働いて

A person wearing a blue cap and a patterned vest is operating a white and blue rice planting machine in a flooded field. The machine has two green rectangular seedling trays mounted on its side. The background shows a dirt road and several houses with red roofs surrounded by trees.

を植える菊地社長



小型田植え機を操作して、苗（コシヒカリ）を植える薙地社長



ハウスに必要な性能を高次元で長期にわたり発揮。
作物づくりに専念できるMKVアドバンスの耐久
無滴農POフィルム「ダイヤスター」シリーズ。
全国の生産者の皆さんに長年ご愛顧いただいている
5年耐久「ダイヤスター」に加え、8年耐久「ス
ーパーダイヤスター」も発売以来7年を経過し、ご
好評をいただいております。

耐久無滴農POフィルム

8年耐久 スーパークリヤスター™

- 8年連続展張を実現
- しなやかな強さを維持して透明度も高まりました。
- 良好的な透明性を持続します。

MKVアドバンス株式会社

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-9-2 住友不動産神田和泉町ビル
TEL 03-4334-4636



当社ホームページ

日原メロン・日原和夫さん逝く

北海道夕張郡栗山町で長年にわたりメロン栽培に携わった日原園の日原和夫(ひらかずお)さんが6月29日、肺臓がんのため逝去了。享年88。通夜は7月1日、告別式は7月2日に栗山町の「セレモニーおおた」で執り行われ、多くの関係者が別れを惜しだ。



日原和夫さんは1938(昭和13)年、東京都中野区生まれ。1945(昭和20)年7月、終戦直前に家族とともに北海道栗山町へ入植。未開の山地を開墾して牛を飼つたり野菜の栽培を行つた。しかしそれだけでは生活が大変だったことから、この地に適した作物はないか模索していくところ、アメリカのメロン種子が手に入つた。裂果や病害のリ

たので栽培してみると高値で売れたことに可能性を感じ、1962年頃より本格的にメロン栽培を始めた。当時はまだ全国的にメロン生産が珍めた。當時はまだ全国的にメロン栽培が珍めた。當時はまだ全国的にメロン栽培が珍めた。

北海道メロンの先駆者



収穫されたメロンが次々と箱詰めされ、全国各地へ出荷される。右端が日原さん



北海道で行われた全国土の会の土壤診断調査にも積極的に参加していた日原さん(左から2人目)。隣は後藤逸男会長



①大学農園の佐藤昌一会長と。(昨年12月)
②いつも笑顔で語ってくれた日原さん

心より感謝を申し上
代表取締役 前田彰宏

スケと向き合いながら、ひと玉ひと玉に情熱を注いだ姿勢は、生産者仲間からも「一玉入魂の職人」として敬意を集めた。

ギフトが好調でブランド化

和夫さんはメロンのギフト販売のパイオニアでもある。夕張郡ながらも夕張の名称が使えないために、独自に「日原メロン」と名づけて販売先を開拓していく。電話帳を頼りにギフト販売のバイオニアでもある。夕張郡な

がらも夕張の名称が使えないために、独自に「日原メロン」と名づけて販売先を開拓していく。電話帳を頼りにギフト販売のバイオニアでもある。夕張郡な

がらも夕張の名称が使えないために、独自に「日原メロン」と名づけて販売先を開拓していく。電話帳を頼りにギフト販売のバイオニアでもある。夕張郡な

がらも夕張の名称が使えないために、独自に「日原メロン」と名づけて販売先を開拓していく。電話帳を頼りにギフト販売のバイオニアでもある。夕張郡な

前から、縁があり、取材に伺った際にはご自身の栽培技術や販売に

関して惜しみなく語っ

てくださったほか、道

内の生産者を紹介

ただくなど、長年にわ

たり多くのご厚意とご

心で、60年以上にわた

り、豊富な人や、成功して

いる人と付き合うこと

も重要で、自分の意識

も自然と高まっていき

ます。

・今は情報がすぐに手

に入る時代ですが、本

当に生きた情報とい

うのは、人との出会いや

交流の中から得られる

ものだと思います。

・自分が何をや

うか、何をや

スイカ 産地状況報告(2)

萩原農場で開催された富研連盟全国協議会のスイカ栽培技術検討会では病虫害について各産地から発表があつた。(前号の続き)

ネット利用等で 防虫対策を

元熊本県農業研究センター・西本氏

ス病について、3つの産地(沖縄・熊本・千葉)から報告してもらいました。全体のまとまりました。セグロウツミバ

工ですが、寄生される

が大きくなりがちで

と果実内部に入り込

ります。また、沖縄の

上間さんから報告があ

った灰色斑紋ウイル

ス病は、ミナミキイロアザミウマによつて媒介されるため、こちらも被害が拡大していま

す。症状はよくあるウ

ン)を育成しました。た

だし、スイカについて

は現状、地域ぐるみで

防除していく必要があ

ります。スイカで感染

を判断する際は、「えそ

症状」が出ていくかど

うかを見ることがポイントです。退緑黄化え

そ病か、あるいは微量

要素の欠乏や生理障害

かは、見ればすぐに判

別できると思います。

JJAみちのく村山尾



セグロウツミバ

イルス病に似ており、収穫直後は食用可能でも出荷には至らないことが多いようです。

千葉県ではCCYVによる退緑黄化え病が発生しています。株元から報告してもらいました。

ラウイルスが侵入し、肥大型に入り着果負担

がかかると一気に進行

します。感染した果実

は、出荷できたとして

あります。現在は、九

州全域、高知県、東海

地方、千葉県、茨城県

などでも発生が確認さ

れています。温暖化な

ど影響で被害が広が

っています。注意が必要

です。

JJA鳥取中央大栄宮農センター・前田氏

萩原農場では、品種

での対応も検討してお

り、メロンではCCY

V耐病性品種「アポロ

」の微小害虫対策として

0・4ミリ自合のポリエチレン製糸を採用し

トの活用だ。様々なタ

イプの防虫ネットを製

造・販売している日本

に、耐久性にも優れて

いる。微細な害虫の侵

入を防ぎつつ、夏場の

通気性を高めるととも

に、耐久性にも優れて

<p